

「発熱外来」のご案内

発熱、倦怠感などの症状がありコロナウイルス、インフルエンザを心配されている方は発熱外来を利用して下さい。

コロナウイルスとインフルエンザの検査を同時に行います。

コロナウイルスの検査は抗原検査とPCR検査の両方できます。
どちらの検査も偽陰性があるため証明書、診断書は書けません。

(偽陰性：本当は陽性なのに、陰性になる場合)

検査結果をお渡しします。ご自分で勤務先等と相談して下さい。

開設時間 (土日、祝日は休診です)

月～金 午前8:30～12:00 午後3:00～5:00

完全予約制です。受診前に必ず電話で予約を取って下さい。

(石川医院：0258-66-2140)

「発熱外来」のご利用の仕方

保険診療です。保険証を用意して下さい。自己負担があります。

診察券のある方は診察券も用意して下さい。

濃厚接触者は行政検査の対象です。当院では対応していません。

勤務先等から証明書、診断書の提出を指示された方も対応しません。

発熱外来には待合室はありません。駐車場の車中でお待ちいただきます。

携帯電話を持参して車で来て下さい。電話でやりとりをします。

予約診療です。受診の前に必ず電話をして下さい。

お名前、生年月日、年齢、症状(いつ感染したと思うか、いつから症状があるか、今どんな症状があるのか、心配なこと)車種と色、いつ来られるか をうかがい予約をします。

到着時間が5時を過ぎる場合は翌日になります。

予約時間に指定された場所に車を駐車して下さい。

キャノピー(玄関の前)の中か、発熱外来の前の駐車スペース のどちらかになります。

駐車したら「到着した」と電話をしてお名前を聞かせて下さい。

職員が車までうかがいます。

車の窓越しに保険証と診察券をいただき本人確認をします。

症状、発症日を確認して抗原検査かPCR検査を行います。

検査の手順

抗原検査は以下の手順で行います。

綿棒を窓越しにお渡しします。車の中で検体をとって下さい。

ご自分で綿棒を鼻の穴の中に 2cm ほど入れ

鼻中隔（両方の鼻の穴を仕切る壁）をこするように 5 回回します。

その後 5 秒ほど抜かずに鼻の穴の中に入れておきます。

取り出した綿棒を見ていただき

綿棒が湿っていなければ別の鼻の穴で同じことをして下さい。

鼻水が十分にとれたら綿棒を渡して下さい。検査をします。

抗原検査の結果は 20 分で出ます。駐車場で待っていただき
電話で結果を説明します。

コロナウイルスが陽性であれば保健所に連絡します。

保健所で受診する病院を調整します。

時間がかかりますので、自宅で連絡を待つて下さい。

陰性の場合は診療棟内の処置室か発熱外来で診察をします。

抗原検査陰性で症状が続く場合は、翌日 PCR 検査をします。

PCR 検査で陰性で症状の続く方は病院に紹介します。

（PCR 検査の再検査はしません）

PCR 検査はご自分で唾液を採っていただくか

職員が鼻の奥に綿棒を入れて検体を採取します。

唾液の場合には駐車スペースで容器をお渡しします。

駐車場に移動して車の中で唾液を容器にとって下さい。

採れたら携帯電話で連絡して下さい。車までうかがいます。

診察が必要であれば発熱外来で診察をします。

検査だけで良ければ車で会計を行い帰宅していただきます。

検査結果は翌日判明します。電話で連絡をします。

唾液が採れない場合は発熱外来で検体採取を行います。

職員が鼻の奥に綿棒を入れ 10 秒したらこすりながら抜いてきます。

（昨年まで行っていたインフルエンザの検査と同じ要領です）

発熱外来で診察をして会計をして帰宅していただきます。

結果は翌日になります。電話で連絡をします。